

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA)【情報 Vol.2 4 8】

各位 (本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、医療過誤団体、野党政党等の約 400 カ所へ BCC 送信しています)

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA) の多田雅史です。

本メールはベンゾジアゼピン (BZD) 関連情報をお送りしています。

- (1) 新規の情報提供希望者が身近におられた場合、BYA-HP の「お問合せ」をご紹介ください。
<https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/>
- (2) 有用な情報をお持ちの方は本メールに返送してお知らせください。皆さんに情報提供します。
- (3) 情報の中で「拡散すべき情報」があれば、皆さんの判断で自由に「転送・SNS 拡散」してください。

【目次】

1. 人間にとって自由とは～「やまゆり園」と身体拘束 (添付)
2. 宮崎は山梨の 4 倍超の違和感…医療事故報告数に都道府県で差 背景に医療機関の懸念 (添付)
3. 罪に問われない大麻「使用」、罰則の創設検討へ (添付)
4. 副作用被害救済の不支給理由 3割が不適正使用 ラミクタールに多く (添付)
5. 精神科病院の身体拘束 “日本はアメリカの 260 倍超” (添付)
- 6-1. 三重大医学部付属病院の元教授 第三者供賄の疑いで逮捕 (特集添付)
- 6-2. 日本医療機能評価機能の病院機能評価事業の結果 (特集添付)
- 6-3. 国循官製談合事件 (特集添付)
7. お知らせ (個人)

【記事】

1. 人間にとって自由とは～「やまゆり園」と身体拘束 (添付)
<https://mainichi.jp/premier/health/articles/20210107/med/00m/100/009000c>
2. 宮崎は山梨の 4 倍超の違和感…医療事故報告数に都道府県で差 背景に医療機関の懸念 (添付)
<https://mainichi.jp/articles/20210115/k00/00m/040/189000c>
医療事故 (予期せぬ死亡事故) の報告が行われないのはなぜか? 日本医療界の面体主義のせいかな?
3. 罪に問われない大麻「使用」、罰則の創設検討へ (添付)
<https://news.yahoo.co.jp/articles/492e6f1d2f1b81cd59b89b9922243617ad707ba2>
大麻使用の罰則化、当然である。しかし、国立精神神経医療研究センター (NCNP) の松本俊彦医師は、大麻自由化を唱えて、罰則化に反対している。なぜだろうか? 利権の悪臭がプンプンする。
4. 副作用被害救済の不支給理由 3割が不適正使用 ラミクタールに多く (添付)
<https://www.mixonline.jp/tabid55.html?artid=54699>
5. 精神科病院の身体拘束 “日本はアメリカの 260 倍超” (添付)
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210119/k10012821311000.html>
歪んだ日本の精神医療の原因は何か? 差別と偏見の国民性か? それとも「安直な金儲け主義の精神医療界」か?
精神障害を罹患した患者の不幸は、①疾患になったこと、②日本に生まれたこと、の2つと言われている。
- 6-1. 三重大医学部付属病院の元教授 第三者供賄の疑いで逮捕 (特集添付)

2021/01/20 22:22

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210106/k10012799021000.html>

<https://www.chunichi.co.jp/article/181527>

以下記事から

『亀井容疑者は、防衛医科大学を卒業し米ハーバード大に留学。「循環器疾患医療の総本山」と評される国立循環器病研究センターで約二十年勤務した。(略)実績を買われ、準教授として三重大病院へ赴任した2016年4月、専門医は二人のみ。古巣の後輩らを招いて十人を超す規模に拡大して基幹病院の役割を果たそうとした。部下の境倫宏准教授もカルテ改ざんで逮捕。第三者供賄事件(日本光電工業)で高額な賄賂は、飲食費に当たっていた。』

患者を食い物にした悪質な国循OBが大繁殖している。

6-2. 日本医療機能評価機能の病院機能評価事業の結果 (特集添付)

<http://www.report.icqhc.or.jp/detail/id=2663>

国立循環器病研究センターは6-3項の「国循官製談合事件」(病院幹部の汚職)により、日本医療機能評価機能の病院機能評価事業の認証を受けられなくなり、現在、認証切れが継続している。病院幹部の汚職は刑事裁判で実刑が確定しているため、その対策が実施されないと病院機能評価事業の認証を受けられない。しかし、今回、6-1の国循OBの三重大元教授の他の国循OBが逮捕されたため、当面、認証を受けられる見込みはない。この病院では毎年200名近くが院内死亡しているが、医療事故報告は1件もされていない。ここに入院している患者さんは哀れである。殺されても「予期した死亡例」として間に葬られている。国循院内の第三者委員会も全員が身内でグルなので、何も発言しないまま「死に体委員会」となって機能していない。

6-3. 国循官製談合事件 (特集添付)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%BD%E5%BE%AA%E5%AE%98%E8%A3%BD%E8%AB%87%E5%90%88%E4%BA%8B%E4%BB%B6>

6-1の三重大事件とまったく同じ汚職形態である。国循の伝統的汚職体質が原因である。この際、国循は解体すべきである。この要求はMHLW医政局へ郵送する。

7. お知らせ (個人)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%97%A4%E7%94%B0%E5%8C%BB%E7%A7%91%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E7%97%85%E9%99%A2>

2020年末から内臓疾患により、自宅近医の藤田医科大学病院へ長期入院しており、やっと退院してきました。

その間、BYA-HPからお問い合わせをいただいた方には、お返事が止まっていましたが、これから順に、お返事を差し上げます。



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 多田雅史